



下宿

させてる

姪

の青春

壊して、

いつでも

使える

便器

セフレ

都合の良い
にした話。

フルカラー
本編45P。

よろしくお願ひしますね、
おじさん！

彼女の名前は白崎彩奈。
僕の遠縁の姪にあたる。

進学に際し僕が管理している
親族の家で一人暮らしを
する事になった。
いわば僕はその後見人という訳だ。

家事でも何でも
手伝わせてくださいね。





三日三晩犯し尽くした。

レレレ...

おははは

おはは

おしお...

つたく。連休だからって
スケベな牝臭
撒き散らしやがって。

年甲斐も無く滅茶苦茶出たわ。

やめ...あつ♡

ははは

ははは





ほくら記念撮影しとかねえとなあ
透クンと本番の時に
参考にしねえと駄目だろ、ギャハハ。



ばばば

おら、とつとカメラに
向かって詫び入れろや。
雌の分際で毎日エロ肉揺らして
誘惑してごめんなさいってな

ばばば

め：雌の分際でエロ肉揺らして
誘惑してごめんなさい……っ
うっわ、マジで言いやがったw





彩菜のメス汁たくさん
マーキングしておきました♥
おじ様のおチンポ

彩菜のパンツにいっぱい
擦り付けて下さい…♥

いっかん

はら、買ってくれるおっさんに
画面に向かってお礼言えよ。

ハミマンモエツロ。
じゃあ一日履きっぱなしの
スケミ下着、近所のおっさんに
言い値で売りつけっから。

おね、♥



おね、♥



メス顔フェラえつろ
またチンポ勃ってきたわ。



おーっ、射精る！



あし、たまんね。
これから毎日犯して
やつからな彩菜ちゃんw

…最低。

ト
ロオ...



マジで感じて
来てんじやねえかこのエロガキ。
身体だけは立派になりやがって
さつさとスケベなまんこで
育てて貰った恩返ししろやコラ。

ト
ロ
ロ
ロ

ア
ッ
ッ
ッ

ア
ッ
ッ
ッ

生まれて初めてのチンポと

夜の玩具の味に脳を焼かれたのか、

許して欲しいと懇願されたので

二穴責めして学校に行かせた。

啜え込んだまま登下校を行ったあと、授業中に絶頂の禁止。

おっぱい

お尻

何度も声を殺して学校で

イキ散らかしたらしいので、お望み通りに一晩中お仕置きした。



そのあと数回、姪を放置して仕事をしていると
夜中に無人の筈の一階から喘ぎ声が聞こえてきた。

覗いてみると姪が一人で自分を慰めていたので
お望み通り極太チンポをぶっ刺すと
豚のような嬌声をあげてメスイキした。





あゝいい
そうそう。

気持ちいい。



え：あれ、彩菜の
親戚のおじさん：だよな。
なんか距離が近...

そうか今日は三者面談...
それに俺はただの幼馴染だし、
彩菜とは小さい頃からずっと一緒に
仲が良いだけで...



やあ、確か君は彩菜ちゃんの
幼馴染の。しばらくぶりだねえ。

ご、ごめんね透くん。
ちよつと今日は
用事が出来ちゃって...



えっ、うん...。
今度部活の試合だよな。

大丈夫、絶対応援に行くから。



もしもし、透くん？
うんごめんね、今日も
おじさんの家の手伝いが
忙しくて...。



いやあ学園長が彩菜ちゃんの
脱ぎ立てパンツのリピーターらしくてさあ。
世間って狭いよねえ。



これからはいっぱい
学園でもセックスできるねえ。

そ…そんな…。



あ、彩菜ちゃん
こんにちは。

えっ…どうして…？





最近彩菜、
付き合い悪いよねー。



締め付けの確認とムダ毛処理を兼ねて学校から帰ったあと、
シャワーも浴びさせずに股を広げさせてまんこを鑑賞した。



「なんだ、欲しいのか？」こくりと頷いたので
その日は上で腰を振らせ続けた。



「はい、また来ちゃいました…。
今夜も彩奈のはしたないおまんこ、
いっぱいいっぱいお使いください。」

姪の栄養管理ということで
毎日夕飯を作らせている。
姪が帰るのは決まって深夜か朝方。
最近は姪の着替えや歯ブラシが洗面台に増えた。





自分を賢いと勘違いしている
思春期ほど騙し易いモノはない。
その日は優越感で
いつもの3倍カウパーが出た。



「あの…彩菜の事なんですけど、
最近変わった事とか無いですか!？」

血相を変えた幼馴染の
ボンクラが家を訪ねて来たので
適当に高い茶を出して帰らせた。



スパチャの度に絶頂するライブ配信が拡散され、
姪は配信中にイキ散らかしながら出産した。

お前

お前

お前

戯れでネットに上げた姪との

セックス動画が大バズりしたので広告収入を元手に

ネットAV女優としてデビューさせた。

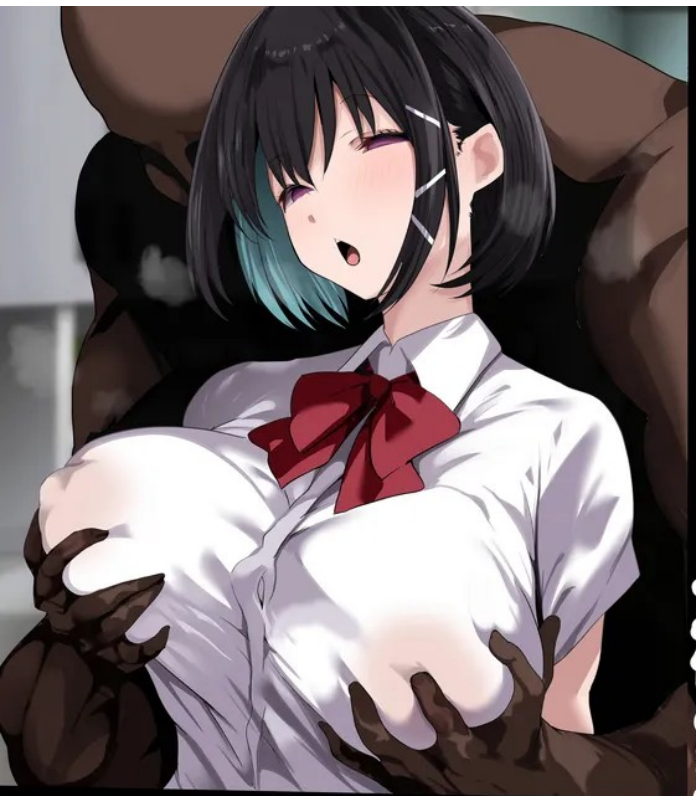


「いえーいA菜です。

今日も私と叔父さんのハメ撮り見て、

いっぱいシコシコしてくださいね♥」





娘の変化に気付いたのは、
夏休みを過ぎた頃でした…。





けどお母さんごめん、
おじさんのおチンポ
すっごく気持ちいいの♡



んあ♡

お♡



あ、見つかったちゃった…♡

夫よりも大きなベニヌに跨り
雌としての優越感に浸る娘に
私は咄嗟に言葉が出ませんでした。



部屋に踏み込んだ私に対して
罪悪感など欠片も無い娘の言葉。



みてみて、おじさんにマッサージされて、
おっぱいもっと大きくなっちゃった♥

む

あ



あ、お母さん
おかえりなさい。

まるで世間話でもするかのような娘の振る舞い。
私が動くならここしかない、そう確信しました。



私は衣服を脱ぎ捨て、
義兄に傳くと床に手を付き懇願しました。



「お願いします。私の身体は好きにして
いただいで構いませんので、どうか娘にこれ以上は。」

無我夢中でした。この獣から娘を守らなくてはならない。

圧倒的でした。

夫のモノなど問題に
ならない程のサイズのペニス。

私は無様にチン負けアクメを晒しながら、
媚び諂うように義兄のペニスをねだりました。





これは世間を知らない娘の為。
いつか社会に羽ばたく娘の為に、
私がこの醜い男の欲望の防波堤に...おっ♡



それから私は何度も
義兄と身体を重ねました。



「ね、お母さん。おじさんのチンポ、
とっても気持ちいいでしょ♡」





ほらほら見てよ、ママさんの写真
ヌイッターに投稿したらめっちゃバズってる。

そんな勝手に…。

「俺の彼女にしたい。」
「娘さんより可愛い。」ってさ。

そんな…こと…♡



ママさん、フォローから
ママさん抱きたいって
メールめっちゃ来てるよ。

『本人も乗り気です』
って返信しとくねw



ごめんなさいアナタ。
今日もパート先の残業で...

夫に嘘をつき、今日も知らない
男の人のペニスを舐めに行きます。

A菜ちゃんママという名前で
認知された私は瞬く間に話題となり、
是非私を抱きたいと
大金を積む男の人まで現れました。

む
おお



「へえ、お姉さんがA菜ちゃんの
お母さんなんだ。今日は宜しく頼むよ。」
通された部屋では

下品な笑いを浮かべた男の人が沢山居ました。



中には町内会で見知った顔も。。

男の人たちは遠慮も無く私の身体を弄り、
好き勝手に射精を繰り返しました。







むねあ

すっげ…こんな美人が
俺のチンポ見てヌいて
くれるなんて…。

うわ、マジで
美人じゃないっスか
A菜ちゃんママ！
お、俺緊張してきた。

あ…ありがとう。



オラ、孕めババア!

うわコイツマジで
マンコ締め付けて
精液一滴残らず搾り取ってくる...



マジでママさん
フェラうめえじゃん。

あ〜っやばい

あ〜っやばい

あ〜っやばい

あ〜っやばい

あ〜っやばい







あゝん♡
早くチンポ
挿入れてえ♡

うわマン臭エツロw
これで子持ち人妻とか
マジかよ

オラ、ババア!
交尾の時間だぞ

イキ死ねババア!!

おら、へばつて
んじゃねえ!!



それから私は
色んな男の人に犯されました。

そして…。



おり、さつさと
画面の前の旦那にご挨拶しろ。

貴方…ごめんなさい♡

貴方…ごめんなさい♡
このコ達のおチンポ
とっっても気持ちよくなってえ
私、このコ達のママに
なることにしたのお♡



これから二人仲良く
ご主人様に
ご奉仕していきます♡

だからご褒美に
いっっぱい犯してくださいね
ご主人様♡



今日も私たちが買いたお金、
いっぱい使ってください
ありがとうございます♡

お呼び付けいただき
ありがとうございますご主人様

ちゅ

ちゅ